

第47回全国選抜軟式野球大会 結果

大会二日目 | 大会一日目

注) 開始時間は予定で状況により前後します

6月2日(日) | 6月1日(土)

11	1	9 Bridge	愛知県	東海①	後 攻 後 攻	
0	1	福芦クラブ	宮城県	北海道 東北①		
1	1	番館	静岡県	主管地		
1	3	増田工務店	大阪府	関西②		
1	0	剛球会	東京都	関東①		
2		ファイターズ	福岡県	九州①		
1	5	NINEアスリート	大阪府	関西①		
6	4	鈴鹿	岐阜県	東海②		
5	7	旭川 Home Story	北海道	北海道 東北②		後 攻 先 攻
1	1	青柳野球部	熊本県	九州②		
1	4	B-Leverage	千葉県	関東②		
1	1	七福神	岡山県	中国 四国		
5	5					

★ 表彰

優勝チーム NINEアスリート 大阪府

準優勝チーム 増田工務店 大阪府

最優秀選手 上野 悠一郎(NINEアスリート)

優秀選手 金川 栄介(NINEアスリート)

棚橋 修司(増田工務店)

優秀審判員 坂元 秀一郎(兵庫県)

大会スコアー

6月1日 (土) 草薙球場

															氏名	府県	
第1試合 1回戦 開始 8:58 終了 10:45															球審	進藤	千葉
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁		府県
宮城	福芦クラブ	0	1	1	1	5						8	14	3	二塁	椿山	大阪
静岡	番館	0	0	0	1	0						1	3	0	三塁	遠矢	福岡

コメント 2回福芦クラブの渡邊、鈴木の連打から先制、続く3回は桜田のタイムリー。4回は畑中、佐藤翔、佐藤雅の3連打で3点目。一方番館は4回に1点を返し追い上げムードも5回に福芦クラブ畑中の3ランで突き放され、この回一挙5点奪われ勝負あり。大越投手は5回3安打1失点の好投で一回戦を突破した。

															氏名	府県	
第2試合 1回戦 開始 11:07 終了 12:40															球審	中村	愛知
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁		府県
東京	剛球会	0	0	0	0	0	0	0				0	1	0	二塁	佐藤	宮城
大阪	増田工務店	0	0	0	2	0	1	X				3	3	0	三塁	鈴木	岐阜

コメント 3回まで投手戦だったが、4回増田工務店、湯上、藤原の2安打で2点先制。6回には2四球と犠打と内野ゴロの間にノーヒットで1点を追加した。一方剛球会は四死球3つと盗塁2つでスコアリングポジションに走者を置く場面もあったが増田工務店の棚橋投手の前に7回1安打11三振で完封され二回戦には進めなかった。

															氏名	府県	
第3試合 2回戦 開始 13:08 終了 15:05															球審	佐々木	大阪
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	特	九	十	計	H	E	一塁		府県
愛知県	9 Bridge	0	3	3	4							11	7	1	二塁	進藤	千葉
宮城県	福芦クラブ	0	1	0	0							1	3	1	三塁	暮林	静岡

コメント 9 Bridgeは2回2安打2四死球失策で3点を先制、一方福芦クラブは点を取られた直後に先頭安達が2塁打を打ちダブルプレー崩れの間に1点を返した。1点を返された9 Bridgeは3回6四死球と失策、ヒット無しで3点追加、4回には塩崎、2本目の2塁打を放った森を含む4安打と四球で4点追加し試合を決め2日目に駒を進めた。

															氏名	府県	
2回戦 開始 15:20 終了 17:03															球審	原田	岡山
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	特	八	九	十	計	H	E	一塁		府県
大阪	増田工務店	0	0	1	1	0		1				2	8	1	二塁	伊豆川	三重
福岡	ファイターズ	0	2	0	0	0		0				2	5	0	三塁	脇村	千葉

コメント 2回の裏ファイターズは日高のソロホームランと増田のタイムリーで2点先制。一方増田工務店は3回に関森のタイムリーで1点返し、続く4回に木村、湯上、中曽根、藤原の4連打で同点に追いついた。しかし、お互い追加点のなく2-2の同点となり、特別試合に突入し先攻増田は犠飛で1点、一方ファイターズは無得点に終わり、増田工務店が勝利した。

大会スコアー

6月1日 (土) 庵原球場

															氏名	府県
第1試合 1回戦 開始 10:48 終了															球審	
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁	
															二塁	
															三塁	

コメント

															氏名	府県	
第2試合 1回戦 開始 10:48 終了 12:16															球審	吉田	愛知
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁		
熊本	青柳野球部	0	0	0	1	0	0	0				1	6	2	二塁	丸山	大阪
千葉	B-Leverage	0	1	2	0	1	0	X				4	5	1	三塁	常石	高知

コメント 2回の表B-Leverage四球の走者がパークで進塁、栗林のタイムリーで先制。続く3回は有田、渡辺、佐々木の3連続2塁打で2点追加。一方青柳野球部は青柳、園川の連打で1点返しなおもセンター前ヒット2点目を狙うもセンターからの好返球でホームタッチアウトで追加点ならず。1点に抑えたB-Leverageは3塁打と暴投で1点を追加し2回戦に駒を進めた。

															氏名	府県	
第3試合 2回戦 開始 12:53 終了 14:35															球審	中島	高知
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	特	九	十	計	H	E	一塁		
北海道	旭川 Home Story	0	4	0	0	0	0	0				4	6	2	二塁	坂元	兵庫
大阪	NINEアスリート	0	0	0	4	0	1	X				5	6	0	三塁	関戸	大阪

コメント 2回の表西村の左越え本塁打で先制。吉田、久木、生川、高橋、田中の連打を含む5安打で3点追加。前半は旭川 Home Storyのペースとなった。一方4点を追うNINEは4回失策と宮前、河上のタイムリーで同点に追いついた。6回ウラNINEは田中の3塁打を足掛かりに内野ゴロで決勝点を上げ。5回から継投した森本投手の力投で逃げ切った。

															氏名	府県	
2回戦 開始 14:55 終了 16:32															球審	丸山	大阪
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁		
千葉	B-Leverage	0	0	0	0	0	1	0				1	3	3	二塁	洞山	岐阜
岡山	七福神	1	0	1	1	2	0	X				5	6	1	三塁	吉田	愛知

コメント 七福神は1回小寺のヒットと盗塁から中林のタイムリーで先制。3回には失策と四球で満塁とし岡崎の犠飛で1点追加。なおも満塁と攻めるもダブルプレーで1点止まり。4回には失策から高橋のタイムリーで追加点。続く5回は斎藤のランニング2ランホームランで2点追加。一方B-Leverageは石井のソロホームランで1点入れるも惜敗。七福神は2日目に駒を進めた。

大会スコアー

6月2日（日） 草薙球場

第1試合 準決勝 開始 8:31 終了 9:54															氏名	府県	
															球審	坂元	兵庫
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁	進藤	千葉
愛知県	9 Bridge	0	0	0	0	0	0	0				0	1	0	二塁	吉田	愛知
大阪	増田工務店	1	0	0	0	0	0	X				1	3	1	三塁	関戸	大阪

コメント 初回、増田工務店先頭打者が四球を選び盗塁し宇畑のタイムリーで先制。2回以降は四球と内野安打一つに抑えられ初回の1点のみ。一方9 Bridgeは増田工務店棚橋の前に2四球、1安打に抑えられ、稀に見る投手戦でスミ1のゲームとなった。完封した棚橋は一回戦の1安打完封に続きこの準決勝も7回1安打完封勝利とし決勝に駒を進めた

第2試合 準決勝 開始 10:08 終了 11:34															氏名	府県	
															球審	常石	高知
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計	H	E	一塁	中島	高知
岡山	七福神	0	0	0	0	1	0	0				1	2	1	二塁	原田	岡山
大阪	NINEアスリート	2	1	0	0	0	3	X				6	8	1	三塁	丸山	大阪

コメント 初回、住野、金川の連打でチャンスをつかみ、上野の2点タイムリーで先制。続く2回は南の足を使った攻撃で一人で1点を追加した。一方七福神は5回、岡崎の右翼席へ飛び込む豪快なソロホームランで2点差へ迫るもNINEアスリート植田投手の前に1点のみ。NINEアスリートは6回に3点を追加し6-1と勝利し決勝へ駒を進めた。

第3試合 決勝 開始 12:04 終了 13:37															氏名	府県	
															球審	椿山	大阪
府県名	チーム名	一	二	三	四	五	六	七	特	九	十	計	H	E	一塁	暮林	静岡
大阪	NINEアスリート	0	0	0	2	2	1					5	4	1	二塁	佐々木	大阪
大阪	増田工務店	1	0	0	0	0	0					1	7	0	三塁	佐藤	宮城

コメント 1回裏、増田工務店はNINEアスリート先発高原の立ち上がりを攻めて先制するも2回以降得点できず。一方NINEアスリートは3回まで増田工務店藤原投手に無安打に抑えられていたが、4回1死1塁から上野のライトオーバーベースで同点。更にレフトへの犠牲フライで逆転。続く5回は2四球で走者1、3塁から金川のタイムリー2ベースで2点追加。投げてはNINEアスリート先発高原が7安打されながらも1点に押さえ完投勝利。大阪対決の決勝はNINEアスリートに軍配があがり秋の全国大会に続き2連覇達成。

優勝のNINEアスリートからは準決勝で先制の2点タイムリー2ベース、決勝でも同点のタイムリー3ベースと貴重な得点を叩き出した上野悠一郎選手が最優秀選手に選ばれ、優秀選手にはNINEアスリートから2日間で9打席6打数3安打、決勝で貴重な2点タイムリー2ベースを放った金川栄介選手。

もう一人は、一回戦で打者24人に対し1安打3四死球11奪三振で7回完封勝利。準決勝では打者24人に対し1安打2四球9奪三振で7回完封勝利と圧倒的なパフォーマンスを発揮した増田工務店棚橋修司投手が選出された。受賞されました皆様おめでとうございます。

優秀審判員賞には坂元秀一郎審判員（兵庫）が選ばれ、今後の活躍も期待されていました。

終わりに大会の運営に尽力頂きました、高橋運営委員長はじめ主管地鈴岡の皆様並びに東海ブロックの皆様、本当にありがとうございました。また、全国より役員、審判の皆様、無事に第47回全国選抜大会を無事終えることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。